

アムステルダム～ウィーン 鉄道の旅 No 1

2008年 8/25 ~ 9/12
ユーレイルパスを使った鉄道の旅



オランダ国鉄



オーストリア国鉄



アムステルダム



KLM オランダ航空



スキポール空港

Schiphol



アムステルダム市街

ムント塔時計台



ホテルのロビー



ムント塔時計台は、アムステル川と
シンゲル運河の合流点に位置する

ホテルの窓から撮影



アムステルダム市街地



アムステルダムのトラム
地下鉄がないのでトラムを利用



トラムの中



トラムに乗って中央駅へ



東京駅の手本となったアムステルダム中央駅



アムステルダム中央駅



オランダ鉄道 特急インターシティー



アムステルダム中央駅



アムステルダムの中心部にあるダム広場



ダム広場



移動はトラムで



ダム広場 アムステルダム王宮



マダムタッソー 蝋人形館



シンゲルの花市場





シゲルの花市場



チューリップの球根が沢山ありました



フリンセン運河



**フリンセン運河は全長が 3 km 以上あり、
北のウェステルドクからアムステル川に向かって
伸びている。
アンネ フランクの家、ハウスボート ミュージア
ム、
アムステルダム チューリップ博物館など、
市内で最も有名な観光スポットのいくつかは
フリンセン運河沿いにある。**

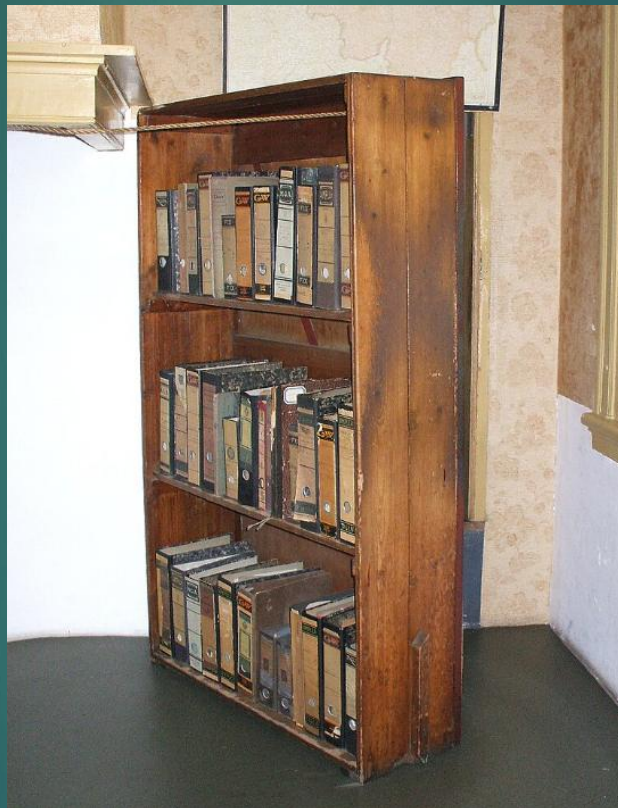


アンネフランクの家の前





アンネフランクの家
(入り口は行列ができていた)



**隠れ家(裏側の建物)に通じる入口を隠した
回転式の本棚**



アムステルダム：市内中心部の観光



運河クルーズ船



アムステルダム 運河クルーズに参加



アムステルダム中央駅付近から出発



ムント広場の塔時計台を通過



運河クルーズ





**科学博物館 (NEMO)
体験型の科学博物館を通過**



宿泊中のホテルの近くを通過



レストランで一休み
向かいが高級デパート





ゴッホ美術館の黄色のバッグを下げている





ムント塔時計台





アムステルダム国立美術館



夜警(レンブラント)



ヨハネス・フェルメール《牛乳を注ぐ女》

レンブラント作



『ユダヤの花嫁(イサクとリベカ)』1667年

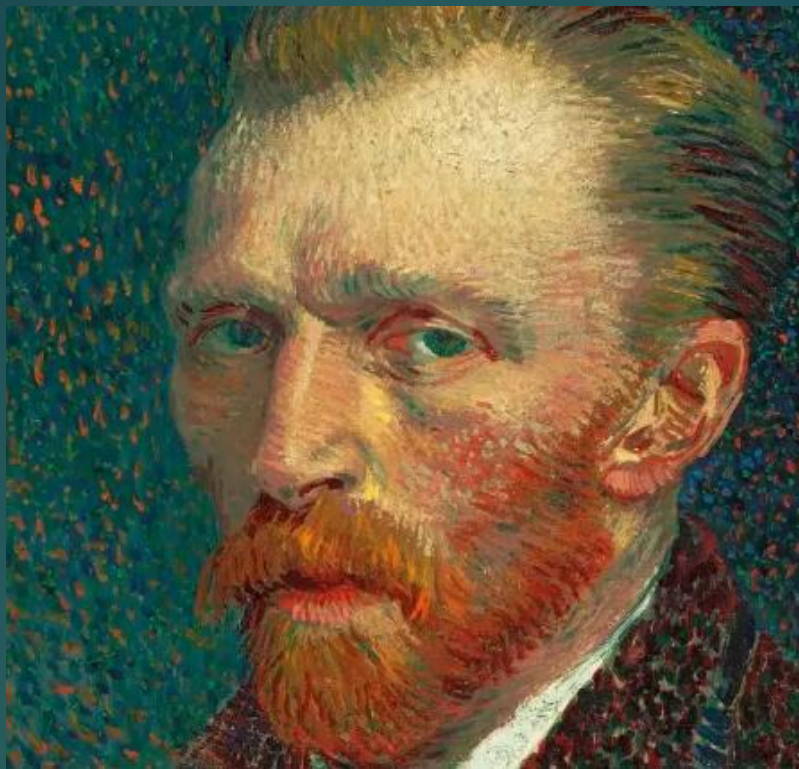


アムステルダム織物商組合の見本調査官たち



ゴッホ美術館





ゴッホ 自画像

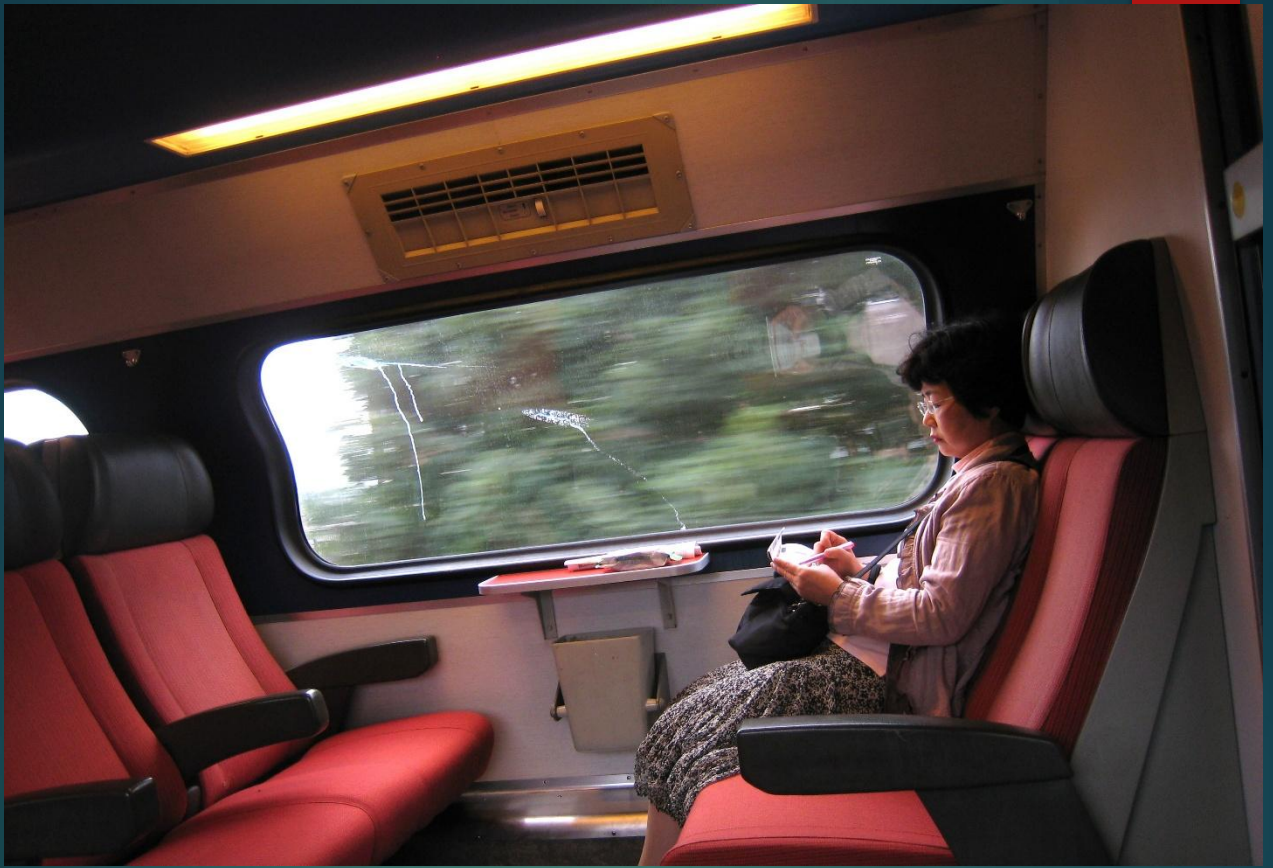


キンデルダイクの風車群を見学



アムステルダム中央駅から ロッテルダム方面へ

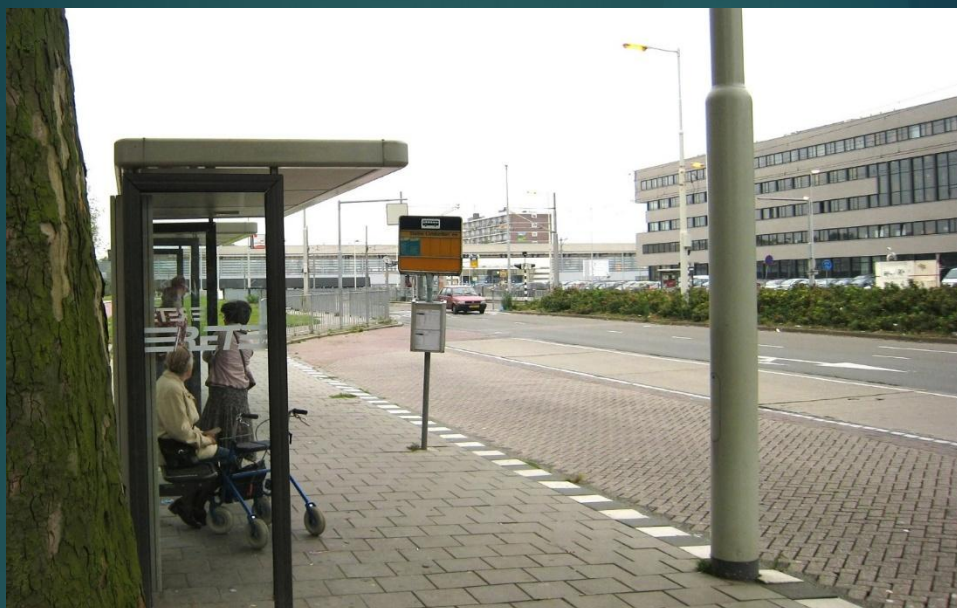




ロッテルダム近郊のロンバルダイন駅まで電車で



ロンバルダイন駅前のバス停



キンテルダイク行きのバスを待つ



バスが来ました



空いていた



キンデルダイク到着



19基の風車が運河沿いに並ぶ



キンデルダイク

海面よりも低いオランダにおいて、排水システムは最も重要な問題であり、風車は欠かすことができない動力。

水面がある一定の高さに到達した際に風車を利用することで排水し、水面の維持を図った。



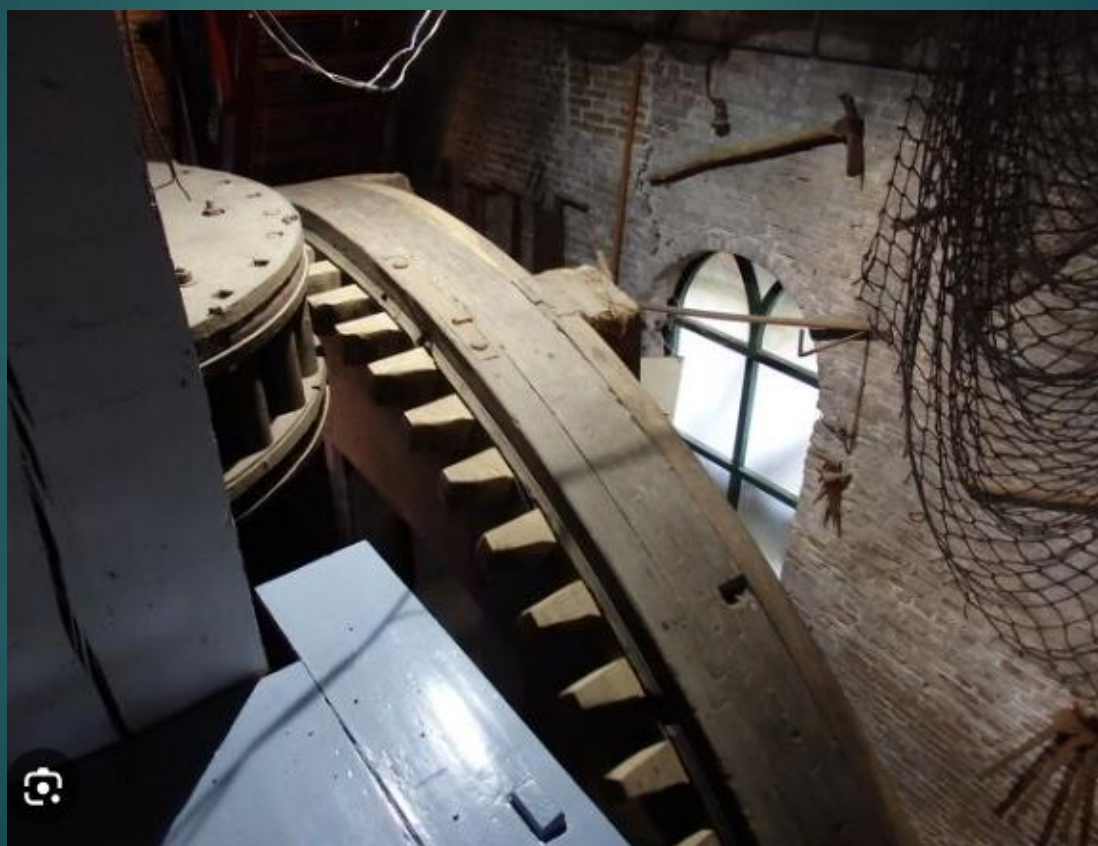
風車の帆をはるので 人が集まってきた



思っていたより風車は大きい



この辺は風が強く 風車の可動に適している



風車の内部の歯車



オランダ第2の都市ロッテルダム 中央駅

帰りにシーボルトが、晩年を過ごしたライデンに寄ってみることにした。



ライデンの街並み

ライデン

オランダ最古の大学都市であり、画家レンブラントの生地である。シーボルトコレクションを所蔵する日本博物館シーボルトハウスや国立民族学博物館があることでも有名



シーボルトが暮らしたオランダの古都

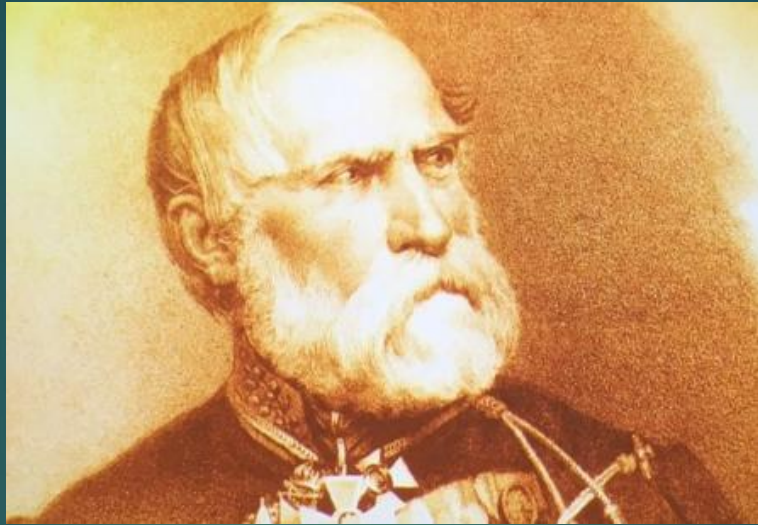




歴史ある、運河の美しいオランダの古都



ライデン市内(ライデン大学付近)



シーボルト



シーボルトハウスの入り口



シーボルトハウスの中庭



シーボルトハウスの展示物



**シーボルトハウスの展示物
日本から持ち帰った物品多数**



シーボルトハウスの展示物

ベルギー

アムステルダムからブリュッセルへ



ブリュッセル南駅

長距離列車の玄関口



タリス

ICE

フリュッセル



深夜の南駅は、駅周辺の治安はかない悪い



フリュッセル南駅に近いアパートホテル

食器棚付きキッチンのある2LDでとても広いホテル

フリュセル グランプラス

フリュッセル中央駅から歩いて5分



左：レストラン街、

右：フラバン侯爵の館

ブリュッセル グランプラス



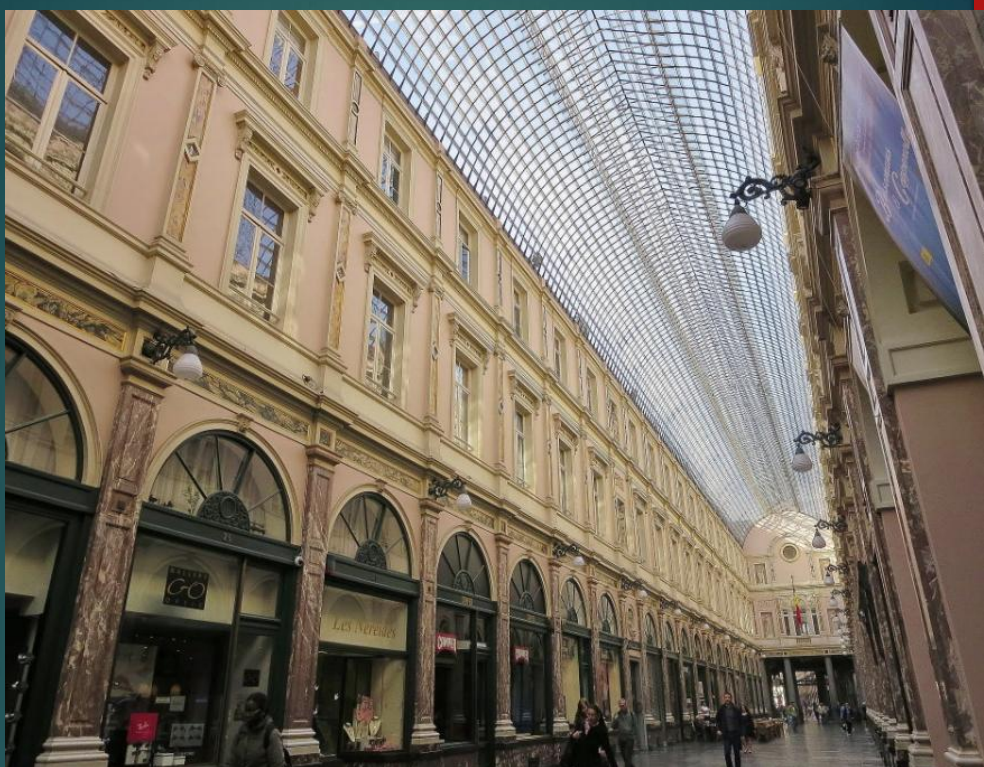


小便小僧
グラン・プラス付近

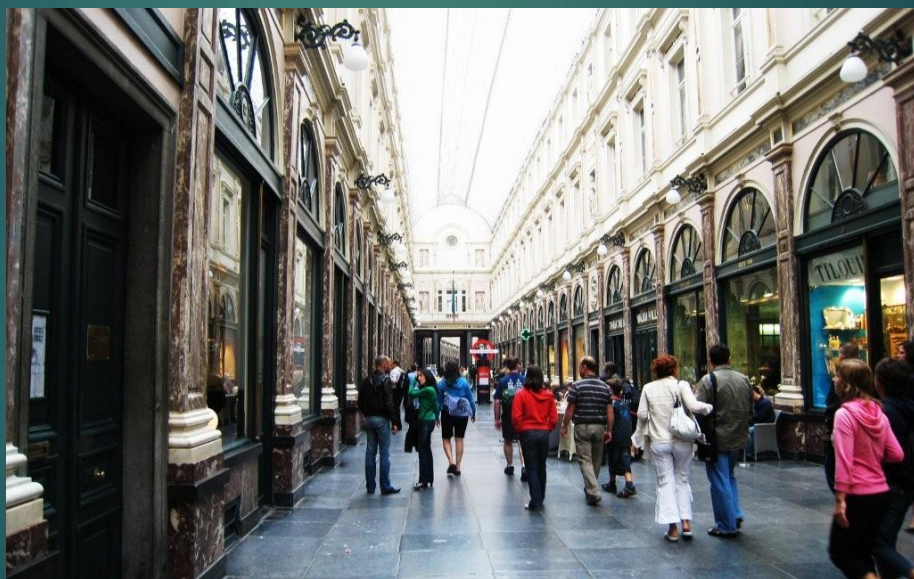


思ったより小さい像

1847年に完成したヨーロッパ最古のアーケード街



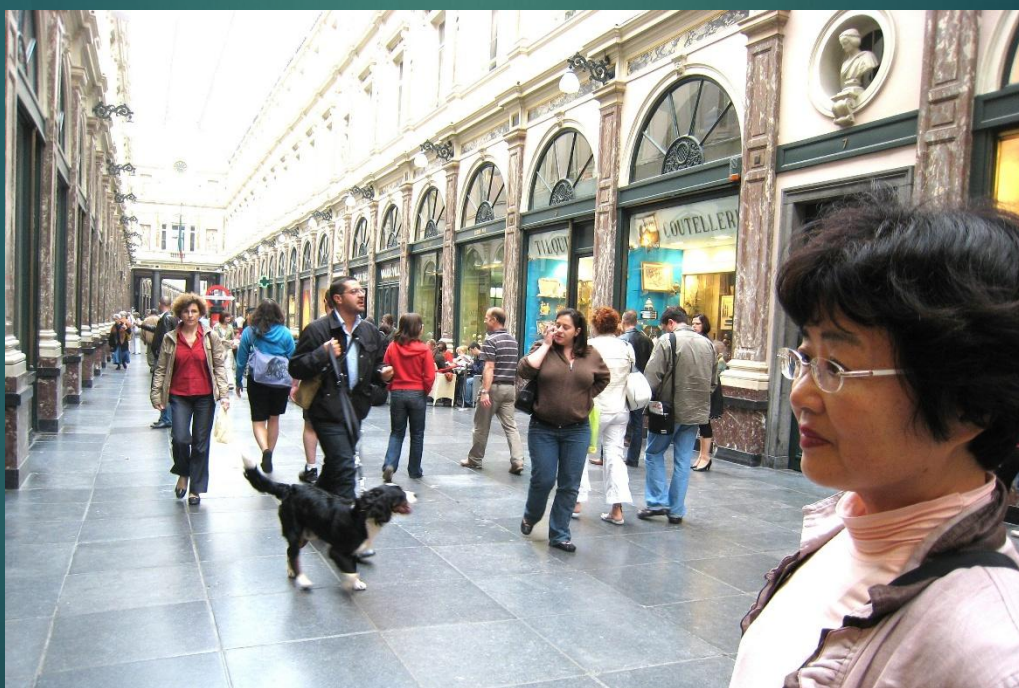
ギャラリー・サン・チュベール



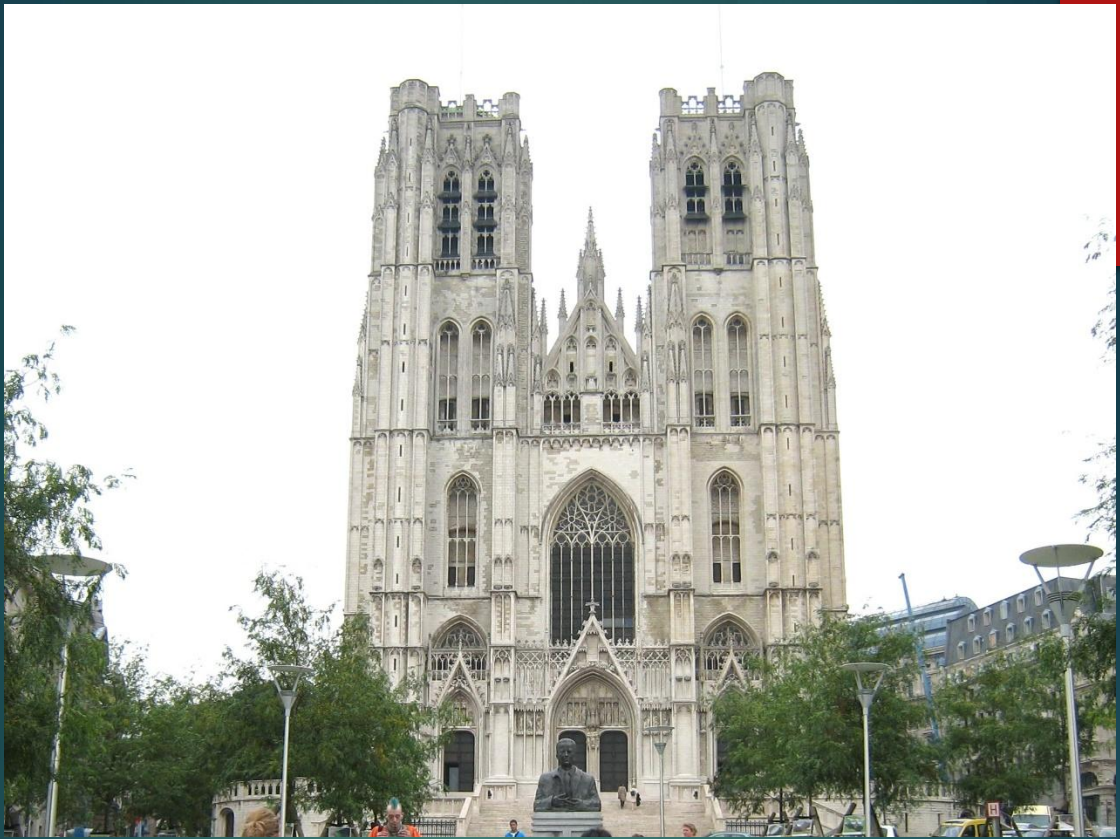
ブリュッセル中心部にある 3 つのガラス張りのショッピング
アーケードからなる集合体



チョコレート屋さん
ゴティバ フリュッセル



ワンちゃんが散歩中



サン・ミッシェル大聖堂(ブリュッセル)



**ブリュッセルの守護聖人とされる
サン・ミッシェルの名がついた大聖堂**



大天使 聖ミッシェル像



サン・ミッシェル大聖堂内部

アントワープ

アントウェルペン

アンバース

アントワープ

オランダ語: Antwerpen

フランス語: Anvers

英語: Antwerp

首都ブリュッセルに次ぐベルギー第2の都市

ハントシェーンマルクトの聖母大聖堂。オランダ最大の大聖堂であり、ルーベンスの三連祭壇画がある。現在も市内最大の建造物



スヘルデ川の右岸の港町



アントウェルペン中央駅

「世界で最も美しい駅ランキング」に常に選ばれてきた豪華な駅舎



駅 構内



駅構内のロイヤルカフェ



アントワープ駅前通り



マルクト広場と聖母マリア大聖堂



アントワープ マルクト広場
ギルドハウスや市庁舎に囲まれた広場です
フラボアの像



フラボアの像

その昔、アントワープにはスヘルデ川(今も町の西方を流れています)を支配していたアンティゴーンという巨人がおり、いつも船乗りたちに高額な河川の通行料を押しつけていました。そして払えない者がいると、罰として船乗りの手を切り落として川に投げ込んでいたのです。そんな悪事を止めさせたのが古代ローマ人の英雄シルヴィウス・フラボアでした。勇敢にもひとりで巨人に立ち向かい、反対に敵の手首を切って川に投げ込み退治をしたのです。



**アントワープ ノートルダム大寺院
(聖母マリア大聖堂)**



ルーベンス像



ノートルダム大寺院



聖母マリア大聖堂（アントワープ）

尖塔の高さ：123メートル



ルーベンスの祭壇画



ルーベンス1611年「キリストの十字架昇架」



ルーベンス作1625-1626「聖母被昇天」



アントワープの市庁舎





アントワープ・シティツアーバス



足が長いベルギーのお嬢さん



ヘット・ステーン Het Steen
「ステーン城」と訳されることもあるが貴族の館



アントワープ ルーベンス像



ベルギー ワッフル

甘すぎて 繊細な味ではない 私はNG判定です

アントワープし中心にあるルーベンスの住居兼アトリエ のルーベンスハウスを見学した



ルーベンスハウスの表側



ルーベンスハウスの内部



ルーベンスハウスの中庭



ルーベンスハウスの中庭





**当時ルーベンスの家はアトリエを兼ねており
沢山の弟子たちが創作に励んでいた**



ルーベンスハウスの展示室



ペーテル・パウル・ルーベンス『自画像』



内部には、当時の調度品が飾られ、
当時の様子が伺える。

アーヘン

アーヘンはベルギー、オランダ、ドイツ国境の町



電車でフリュッセルからアーヘンへ



電車は大変空いていて快適

アーヘンはドイツ



アーヘン中央駅



アーヘン大聖堂周辺の街並



オフジェ フッペン噴水
(温泉)



アーヘン大聖堂の模型

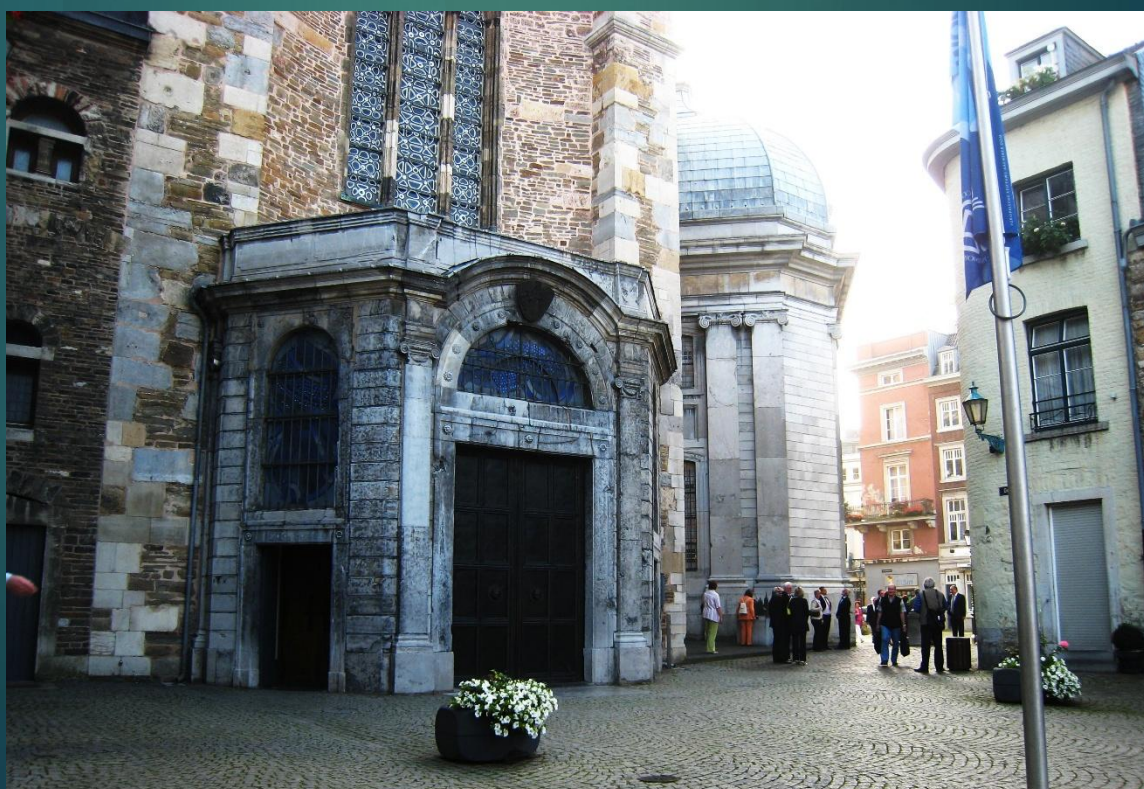


アーヘン大聖堂はドイツ初の世界遺産

**アーヘン大聖堂の歴史は、西暦786
年にフランク国王カール大帝が宮
殿教会を建設したことから始まる。**

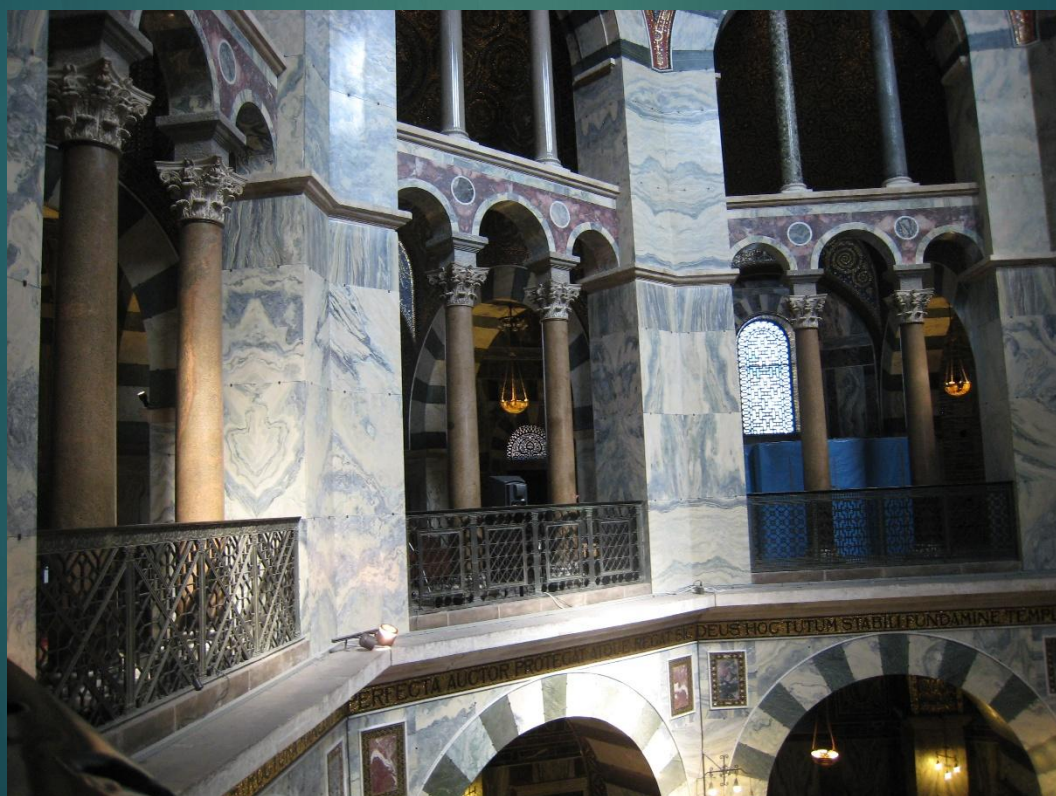


アーヘン大聖堂





アーヘン大聖堂前のマルクト



アーヘン大聖堂の中



八角形の回廊



フランク王国 カール大帝の大理石の玉座



玉座の裏側



アーヘン大聖堂





ステンドグラスと金色の聖遺物箱



**カールのシュライン(Karlsschrein)と呼ばれる
聖遺物箱があり、カール大帝の遺骨が納められ
ています。**



宝物館の入り口

アーヘン大聖堂西側にある宝物館

カール大帝の宝物庫



宝物館に展示されているカール大帝像

メッキを施したカール大帝の胸像(1349年)



カール大帝像



カール大帝の棺



聖女コロナの祠(やしろ)



聖遺物の展示

キリストが産湯に使ったときに使った布(むつき)他

「四大聖遺物」が秘蔵され、
特定の期間に展観に供されていた。
「四大聖遺物」は、
マリアの長衣、
キリストのむつき、
斬首された洗礼者ヨハネの頭を包んだ布、
十字架上のキリストの腰布である。

そんなものが残っているはずはないと思うが



黄金の十字架



黄金の右腕



**カール大帝が使用していたと言われている象牙のホーン
戦場で仲間を呼んだりするために使用されていた**